

教育・文化

【教育①】

(1) 荒川区の現状

○学校教育

次代を担う子どもたちが、個性や能力を十分に発揮し、変化の激しい社会をたくましく生きる力を培い、人間性豊かに成長していくことが求められている。

このためには、地域、学校、社会が互いに連携し、地域全体で子どもたちを健やかに育てていくことが必要である。

そこで、子どもたちが地域社会でのさまざまな体験を通じて、他者を尊重する心や社会性を身につけられるよう、子どもたちが地域で活動できる機会づくりや、学校などの教育資源の有効活用に努めている。

また、各学校が基礎学力の向上に向けた取組を着実にを行うとともに、創意と工夫にあふれた教育を展開することにより、学校教育の充実を図っている。

[区立小中学校の状況]

- 区立の小学校は23校、中学校は10校である。心身障害児学級は、小学校4校、中学校2校にあり、通常の学級に籍を置いて通いながら学習する、いわゆる通級学級は小学校2校、中学校1校にある。
- 児童生徒数は、小学校7,352人、中学校2,839人である。また、1学級の平均児童生徒数は、小学校で約29人、中学校で33人である。
- 中学校では平成14年度入学生から、小学校では平成15年度入学生から通学区域制度の弾力的運用として学校選択制を実施している。
- 他の学区域の学校を選択した児童生徒の割合は、学校選択制実施後から増加しており、平成18年度の入学生については、小学校では4人に1人、中学校では5人に1人が他の学区域を選択している。
- 区外の区立小中学校に就学する児童生徒数は、学校選択制の導入前に比べ、現在は、小学校では半減、中学校では3分の1に減少している。
- 私立中学校への進学者数は、この数年間、学齢対象者の2～3割という状況にあり、大きな変化は見られない。

[確かな学力の定着・向上]

- 児童・生徒に基礎的な知識・技能を身に付けさせ、それを活用しながら自ら学び自ら考える力などの「確かな学力」を育成し「生きる力」をはぐくむ取組として、学力向上のための調査（平成14年度～）や習熟度別学習（平成13年度～）を進めている。

[児童・生徒の健全育成]

- 基本的な生活習慣や態度が身に付いていない、体力が低下している、自制心や規範意識が十分に育っていないなど、児童・生徒の様々な課題が指摘されている。学校教育の改革とともに、家庭や地域社会の教育力の向上を目指し、社会全体で子どもたちを育てる環境の整備に努めている。
- 不登校児童・生徒数は、平成16年度で小学校20人、中学校105人となっているが、これは平成12年度と比べ微減の状況である。

[教員の資質の向上]

- 学校教育の質の向上を図るために、子どもたちや保護者はもとより、広く社会から尊敬され、信頼される質の高い教師の養成・確保に努めている。（荒川区「新たな教員研修体系」（平成17年度）参照）

[教育環境の整備]

- 小中学校の建設年代別内訳をみると、昭和30年代・40年代に建設された小中学校が各12校、50年代2校、60年以降が7校である。

教育・文化

【教育②】

(1) 荒川区の現状

○生涯学習・生涯スポーツ

(生涯学習)

国際化、情報化、科学技術の急速な進展のほか、高齢化など社会が激しく変化している今日、心の豊かさや生きがいのために、人々が生涯のいつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができる社会を実現する必要性が増大している。荒川区においても、地域社会の活性化、高齢者の社会参加、青少年の健全育成などの観点から、学習する機会や場の提供、指導者の育成など、ますます増える学習需要に応えるための生涯学習の基盤整備に努めている。

また、生涯学習の拠点となる図書館は、区内5か所に整備され、1日平均4千人の来館がある。図書館ニーズは幅広く、期待は高い。学習、情報収集、仕事や生活、文化や世代交流等多様な目的により、子どもから高齢者まであらゆる世代が利用している。

(生涯スポーツ)

少子・高齢化の進展、健康志向、子供の体力低下、企業・学校スポーツの停滞等、スポーツを取り巻く環境やライフスタイルが変化する中、区民が生涯に渡って主体的にスポーツに親しみ、明るく活力のある社会を築くことが求められている。

区では、区立の屋外運動場・屋内体育施設、学校の校庭や体育館などの提供や、各種スポーツ大会や教室の実施を通じて、区民のスポーツ活動の促進を図っている。

(生涯学習)

- 区には、区民の文化・学習活動等の支援、地域文化の振興を図る場として「生涯学習センター」や「町屋文化センター」がある。
- また、豊かな自然環境の中での集団生活を通じて青少年の豊かな心を養うとともに、区民が山村での文化交流を深め、健康増進を図る施設として、「清里高原ロッジ及び清里高原少年自然の家」がある。
- 区に登録のある社会教育関係団体は、441団体ある。(平成18年3月31日現在)
- 生涯学習活動の有無をみると、「ある」が26.7%、「ない」が72.2%となっている。
- 生涯学習活動を行う目的は、「趣味を豊かにするため」(52.3%)、「教養を高めるため」(44.1%)、「健康増進、体力づくりのため」(39.6%)、「人間関係を広げるため」(38.4%)などとなっている。(第27回区政世論調査 平成14年実施)

- 生涯学習活動を行わなかった理由は、「時間にゆとりがない」(61.9%)、「適当な学習場所や機会がない」(23.5%)、「学習活動に必要な情報が入手できない」(18.4%)などとなっている。(第27回区政世論調査 平成14年実施)
- 荒川区立図書館の登録者は、平成17年度合計で51,492人となっている。また、平成17年度の個人貸出冊数は1,395,858冊、一人あたりの平成17年度個人貸出冊数は7.3冊となっている。
- 図書館では、平成13年度より全国にさきがけてインターネットによる予約を実施した。平成17年度の予約件数は327,310件で、平成12年度(80,484件)に比べ4倍の伸びとなっている。

(生涯スポーツ)

- 現在、区に登録があり継続的にスポーツ活動をしている区内のスポーツ団体やサークルは、約500団体である。
- 荒川区体育協会に加盟している競技団体は25団体で、会員数は約10,000人である。
- 区内の屋外運動場の利用傾向は、ほぼ横ばいであり、土・日曜日は抽選になる一方、平日は空きが多い。屋内体育施設についても同様である。
- 区内のスポーツ施設への要望は、「身近で利用できる施設数の増加」(36.2%)、「利用時間帯の拡大」(25.6%)、「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」(20.4%)となっている。
- 区民の日頃の運動やスポーツ活動は、「週1回以上」が約26%、「月1回未満」は52.7%となっている。(第30回区政世論調査 平成17年実施)

教育・文化

【教育③】

(2) 主な施策の推進状況

○学校教育

1 確かな学力の定着・向上

- 平成14年度より、学習内容の定着状況と学習に対する意欲を測る「学力向上のための調査」を実施している。
- 小学校第3学年以上の算数、中学校全学年の数学・英語において、習熟度別学習を取り入れている。
- 実践的なコミュニケーション能力を育成するために、「構造改革特別区域」の認定を受け、小中一貫の英語教育を実施している。平成16年度から、小学校全学年において週1時間の英語の授業を開始した。中学校においても、学習指導要領の標準時数を上回る週4時間の授業を行っている。
- 基礎的、基本的内容の確実な定着を図るとともに、学習意欲を高め、学ぶ習慣を身に付けることを目的に、平成18年度より月1回「あらかわ土曜スクール」を開始した。

2 子どもたちの健全育成

- 児童・生徒に豊かな人間関係を築く力や、より広いものの見方や考え方を育成し、社会の習慣やルールを学ばせるために、キャリア教育を推進している。
- 地域在住の優れた技術をもつ方や、国内・海外での豊かな経験をもつ方を招き、体験活動や講演会を実施するなど、児童・生徒が自己実現を図ろうとする態度を育成している。
- スクールカウンセラーを全中学校に配置するとともに、小学校にも巡回型で派遣している。
- 特別支援教育*1モデル校を指定し、学校の組織力の向上と、関係諸機関との連携の一層の強化に努めている。

3 教員の資質の向上

- これまでの教員研修体系に区独自の研修を加え、新規採用から4年目までの教員等を対象に、指導力を身に付けさせる研修を、集中的かつ継続的に実施している。
- 小学校英語科の指導を充実させるために、新任・転入の管理職及び教員に対して、荒川区の英語教育の基本的な考え方に関する研修会を実施するとともに、英語実技研修を実施し、指導力の向上を図っている。

4 教育環境の整備

- 学校図書館の図書を充実するため、国の基準冊数（学校図書館図書標準）に対する整備率を、平成18年度内に平均73.8%から100%へ大幅に引き上げる。
- 平成16年度に整備した教育ネットワーク*2の活用の充実と、平成21年度までに校内LANを整備することにより、小中学校における情報教育の環境整備を図る。
- 市街地再開発事業、民間住宅開発による児童の急増に対応するため、汐入地区に小学校、幼稚園等の教育施設の整備に取り組む。
- 昭和30年代に建設された小中学校が順次に耐用年数を迎えるため、今後、中長期的な視点に立って改築計画を検討する。

○生涯学習・生涯スポーツ

1 学習機会の提供

生涯学習のきっかけやグループ作りの場として、区民カレッジ、文化総合講座やカルチャー講座等を実施しているほか、荒川ふるさと文化館では企画展や館蔵資料展、郷土の歴史等を学ぶ講座等を開催している。

2 指導者の育成

文化教養、スポーツ等の生涯学習活動の助言・指導を行うため、様々な技術・技能を持つ地域住民や団体の協力を得て社会教育サポーター制度を推進している。

3 子どもの読書活動の支援

子どもたちの読書活動を支援するため「荒川区子ども読書活動推進計画」を策定し、様々な読書機会の提供と読書環境整備を図ることにより、家庭・地域及び関係機関が連携し、地域社会全体で子どもたちの読書活動を推進する。

4 図書館サービスの充実

日常生活や仕事上での問題解決を支援するレファレンスサービスの充実を図るとともに、ボランティアを育成し、図書館事業等への積極的な活用を図る。また、学校図書館との連携も強める。

5 スポーツを行う場の整備

東尾久運動多目的広場を拡充するとともに、荒川総合スポーツセンターの大・小体育室に空調設備を設置する。また、荒川河川敷のスーパー堤防工事に伴い、少年運動場の機能拡充を図る。

6 様々なスポーツ振興事業の実施

区民の健康増進、仲間づくりの場及び多世代交流、青少年の健全育成を目的として、夜間の小中学校体育館で実施しているスポーツひろばの充実を図るとともに、区民の主体的なスポーツ活動の促進を図るため、生涯スポーツ振興事業を実施する。

*1 特別支援教育：従来の特殊教育の対象の障害だけでなく、LD（学習障害）・ADHD（注意欠陥／多動性障害）などの障害のある児童・生徒に対して適切な教育や指導を通じて支援を行うこと。

*2 教育ネットワーク：教育ネットワークとは、区立小中学校に配置されたパソコン約2700台を、光ファイバー回線によりネットワークで結び、ブロードバンドインターネットの基盤整備とセキュリティ機能の強化を図る地域イントラネットをいう。この教育ネットワークにより配信される学習教材（コンテンツ）の利用や、教育ノウハウの蓄積と共有による活用を進め、教育内容の充実・向上を目指している。

教育・文化

【教育④】

(3) 区政改革懇談会の意見等	(4) 検討テーマ
<p>○真紅グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 共存（ノーマライゼーション）意識が高い支え合いのまち <ul style="list-style-type: none"> 子どもの頃からの教育を充実するとともに、子どもや高齢者など、多様な交流の場をつくっていく必要がある 再開発で人口増加が予想される中で子育てや教育環境を充実する必要がある <p>○瑠璃グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 憩（イキ）「憩いの場所としての荒川」（芸能・文化・余暇） <p>○紫苑グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> 学力の向上・豊かな心の育成 教員の資質の向上 地域教育・家庭教育の充実 <p>○茜グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かに健やかに学力向上できるまち <ul style="list-style-type: none"> 人間としての基本的なことが学べる教育環境が整っている 公立校の教育力が高く、越境するなら荒川区の学校と思われるようになっている 学校と地域・保護者との間での常にコミュニケーションがとられている など <p>○萌黄グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもを育てやすいまちづくり（教育環境の整備） <p>○山吹グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育・青少年の健全育成 <ul style="list-style-type: none"> 魅力的で厳格な学校授業が行われ、健全な青少年が育つまち 	<p>◇教育の将来像について</p> <p>【主なキーポイント】</p> <p>○学校教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 確かな学力の定着・向上 思いやりや豊かな心をもつ子どもの育成 健全で安全に生活できる体力の育成 健全な心と身体を培う望ましい食習慣の形成 子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育の実現 <p>○生涯学習・生涯スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習社会の実現、区民参加による生涯学習の振興 身近な生涯学習の拠点としての図書館の充実 生涯スポーツ社会の実現、区民の主体的なスポーツ活動の振興 <p>◇将来像の実現に向けた取組について</p> <p>【主なキーポイント】</p> <p>○学校教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 「荒川区学校教育ビジョン」の策定 教員の資質向上への取組の充実 基礎体力向上・食育推進の取組の充実 家庭・地域との連携の強化 区民参加による小中学校の適正規模確保のための検討 <p>○生涯学習・生涯スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進計画の策定、区民参加の仕組みづくりの検討 図書館利用者の視点に立った環境の整備、きめ細かなサービスの充実 スポーツ環境の整備、人材の育成

教育・文化

【文化】

<p>(1) 荒川区の現状</p> <p>○文化</p> <p>区内には、養福寺仁王門をはじめ荒川区の歴史や文化を伝える文化財、史跡が数多く残されている。また、江戸時代からの伝統的な工芸技術を受け継ぐ多くの職人がいる。さらに、今まで地域に受け継がれている神社の祭り、町内の盆踊り、縁日などの各種行事が、区民のふれあいの場となっている。</p> <p>また、区民が優れた芸術・文化に親しむ機会を拡充するとともに、区民の自主的な文化芸術活動を支援している。</p> <p>都市間交流は、国内16都市、海外4都市との間で行われており、最近では、平成18年2月に韓国済州市、中国大連市中山区と友好都市提携を結び、文化や芸術、産業や観光、スポーツなど幅広い分野にわたって、相互に連携を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 荒川区の登録文化財は、有形文化財として110が登録されている。また、無形文化財として区内で59名が登録されており、金工、竹工、木工、漆工、人形づくり、染織・刺繍、看板文字、筆・刷毛づくりなどの伝統工芸技術の保存を図っているが、後継者が不在の職人も多い。(平成18年3月末現在) 区民が郷土あらかわの歴史や文化を楽しみながら学び、探求できる施設として「荒川ふるさと文化館」があり、利用者は年間1万人を超えている。 区民が優れた芸術・文化に身近なところで親しめるよう、区内の文化施設等を活用し、コンサートや演芸などの文化芸術事業を展開するとともに、区民の自主的な文化芸術活動の支援を行っている。 国内では埼玉県秩父市(昭和56年、旧荒川村)と姉妹都市提携を結び、千葉県鴨川市(平成3年)、千葉県大多喜町(平成7年)と友好都市提携を結んでいる。海外ではオーストリアウィーン市ドナウシュタット区(平成8年)、韓国済州市、中国大連市中山区(ともに平成18年)と友好都市提携を結んでいる。その他14都市との間でも、多様な交流を行っている。 	<p>(2) 主な施策の推進状況</p> <p>○文化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 伝統工芸の保存と継承、伝統技術の普及と啓発 伝統工芸技術保持者の技術の記録や伝統工芸品の保存、製作実演、インターネット等による幅広いPR活動及び販路拡大に対する支援を推進している。(あらかわの伝統技術展、伝統工芸技術記録映画、販売支援サイトへの掲載等) 2 芸術文化の振興 区民が優れた芸術文化に接する機会を確保し、区民の芸術文化に対する自主的な活動と区民の交流を支援している。 3 国内・海外都市との交流の推進 区では平成17年11月に都市間交流の今後の方向性を示す「荒川区都市間交流に関する取り組み方針」をまとめ、国内16都市との継続的な交流を進めるとともに、海外都市との活発な交流を図り、外国人との多文化共生意識を育てている。 <p>(3) 検討テーマ</p> <p>◇文化の将来像について</p> <p>【主なキーポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財の保存・継承 区民を心豊かにする芸術文化の振興 国内・海外都市との多様な交流 <p>◇将来像の実現に向けた取組について</p> <p>【主なキーポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財のPR及び工芸品の販路拡大 区民が優れた芸術文化に接する機会の拡充、区民の自主的な文化活動の促進 活力に満ちた区民生活を実現するための都市間交流の推進
--	--

関連資料

1. 学校教育

・区内小中学校児童・生徒数の状況と推移	1
・小中学校の建設年代内訳	4
・学校選択制導入前後の就学動向の推移	5
・学習到達度の調査結果 （学習目標に対する達成状況）	6
・学習意識の調査結果	7
・荒川区「新たな教員研修体系」	8
・教員数の推移	9
・不登校児童・生徒数の推移	9

2. 生涯学習・生涯スポーツ

・生涯学習センター利用者の推移	10
・清里高原ロッジ・少年自然の家 利用者数の推移	11
・生涯学習に関する区政世論調査結果	12
・区立図書館の概要	14
・区立図書館貸出冊数等年度別推移	14
・人口1人あたりの図書冊数、 貸出冊数、図書費の比較	14
・区内のスポーツ施設の概要	15
・荒川区体育協会組織一覧	16
・スポーツ活動に関する区政世論調査結果	17

3. 文化

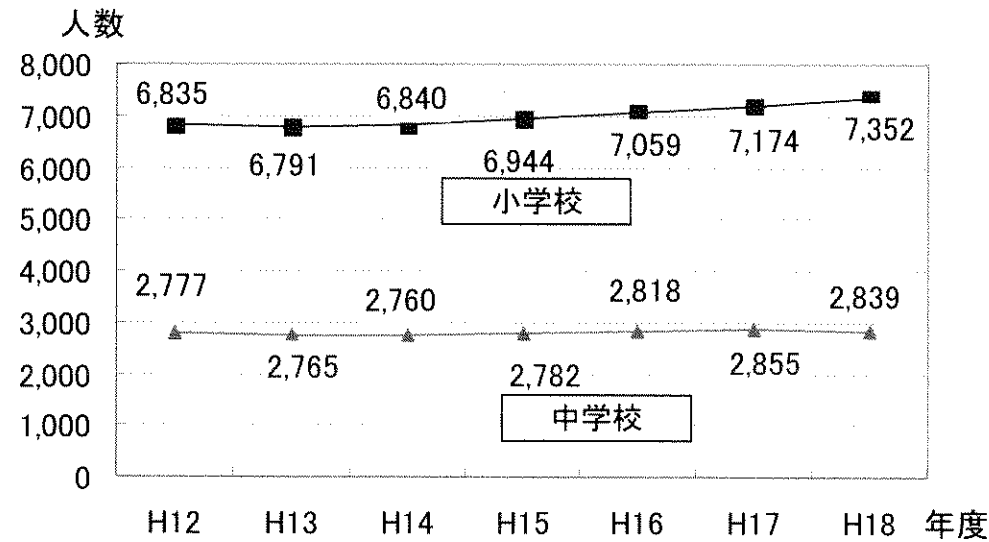
・荒川区登録・指定文化財一覧	18
・荒川ふるさと文化館の利用者数の推移	20
・荒川区文化団体連盟一覧	21
・区内文化施設の概要	22
・ACC（荒川区地域振興公社） の文化・芸術事業	23
・区内に設置されている彫刻一覧	24
・都市間交流の概要	26

1 学校教育

●区内小中学校児童・生徒数の状況と推移

以前は減少傾向にあったものの、小学校は平成14年度から、中学校は平成15年度から増加傾向にある。

区立小中学校児童・生徒数の推移



※平成12～17年度は5月1日現在、平成18年度は4月1日現在

出典：荒川区教育委員会事務局学務課資料

平成18年度 小学校児童数・学級数

平成18年4月1日現在

児童数

小学校名	一年	二年	三年	四年	五年	六年	合計
瑞光	105	80	79	112	60	89	525
第二瑞光	43	19	28	37	26	27	180
第三瑞光	47	34	56	38	49	46	270
汐入	131	117	126	121	89	95	679
第六瑞光	20	8	13	24	14	14	93
峡田	69	68	116	86	77	88	504
第二峡田	32	46	33	27	41	31	210
第三峡田	34	19	19	30	21	33	156
第四峡田	81	62	69	65	51	68	396
第五峡田	56	56	56	72	60	61	361
第七峡田	50	57	52	44	51	64	318
第九峡田	32	33	27	35	49	37	213
尾久	60	53	59	49	47	54	322
尾久西	91	70	76	100	100	95	532
尾久第六	78	65	42	56	31	53	325
赤土	81	85	72	81	54	84	457
大門	66	70	67	60	70	57	390
尾久宮前	33	33	64	47	66	59	302
第一日暮里	21	21	17	24	17	21	121
第二日暮里	7	14	13	0	11	8	53
第三日暮里	81	70	74	58	57	46	386
第六日暮里	23	22	23	15	17	18	118
ひぐらし	69	69	62	71	61	59	391
合計	1,310	1,171	1,243	1,252	1,119	1,207	7,302

(心障学級)

第六瑞光	3	1	4	5	5	1	19
峡田	1	1	2	0	4	1	9
第三峡田	(0)	(10)	(14)	(9)	(7)	(7)	(47)
第四峡田	(0)	(2)	(1)	(2)	(1)	(0)	(6)
尾久西	0	0	5	3	0	2	10
大門	1	1	0	2	5	3	12
合計	5	3	11	10	14	7	50
通級合計	(0)	(12)	(15)	(11)	(8)	(7)	(53)

()内数字は、通級児童数

総計	1,315	1,174	1,254	1,262	1,133	1,214	7,352
----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

学級数

一年	二年	三年	四年	五年	六年	合計	略称
3	2	2	3	2	3	15	瑞光
2	1	1	1	1	1	7	二瑞
2	1	2	1	2	2	10	三瑞
4	3	4	4	3	3	21	汐入
1	1	1	1	1	1	6	六瑞
2	2	3	3	2	3	15	峡田
1	2	1	1	2	1	8	二峡
1	1	1	1	1	1	6	三峡
3	2	2	2	2	2	13	四峡
2	2	2	2	2	2	12	五峡
2	2	2	2	2	2	12	七峡
1	1	1	1	2	1	7	九峡
2	2	2	2	2	2	12	尾久
3	2	2	3	3	3	16	尾久西
2	2	2	2	1	2	11	尾久六
3	3	2	3	2	3	16	赤土
2	2	2	2	2	2	12	大門
1	1	2	2	2	2	10	宮前
1	1	1	1	1	1	6	一日
1	1	1	0	1	1	5	二日
3	2	2	2	2	2	13	三日
1	1	1	1	1	1	6	六日
2	2	2	2	2	2	12	ひぐらし
45	39	41	42	41	43	251	合計

						3	六瑞
						2	峡田
						(4)	三峡
						(1)	四峡
						2	尾久西
						2	大門
						9	合計
						(5)	通級合計

						260	総計
--	--	--	--	--	--	-----	----

出典：荒川区教育委員会事務局学務課資料

1-2 学校教育

平成 18 年度 中学校生徒数・学級数

平成 18 年 4 月 1 日現在

生徒数

中学校名	一年	二年	三年	合計
第一中	111	110	139	360
第三中	77	77	58	212
第四中	47	27	23	97
第五中	99	81	98	278
第七中	59	70	67	196
第九中	85	128	80	293
尾久八幡中	154	141	166	461
南千住第二中	49	50	63	162
原中	62	73	81	216
諏訪台中	179	167	151	497
小計	922	924	926	2,772
九中(夜間学級)	6	5	23	34
合計	928	929	949	2,806

(心障学級)

第一中	7	2	7	16
尾久八幡中	5	5	7	17
九中(オ-ﾌﾟﾝ)	(0)	(4)	(3)	(7)
合計	12	7	14	33
通級合計	(0)	(4)	(3)	(7)

()内数字は、通級生徒数

総計	940	936	963	2,839
総計(夜間除く)	934	931	940	2,805

学級数

一年	二年	三年	合計	略称
3	3	4	10	一中
2	2	2	6	三中
2	1	1	4	四中
3	3	3	9	五中
2	2	2	6	七中
3	4	2	9	九中
4	4	5	13	八幡中
2	2	2	6	南二中
2	2	3	7	原中
5	5	4	14	諏訪台中
28	28	28	84	小計
1	1	1	3	九中(夜間学級)
29	29	29	87	合計

			2	一中
			3	八幡中
			(1)	九中(オ-ﾌﾟﾝ)
			5	合計
			(1)	通級合計

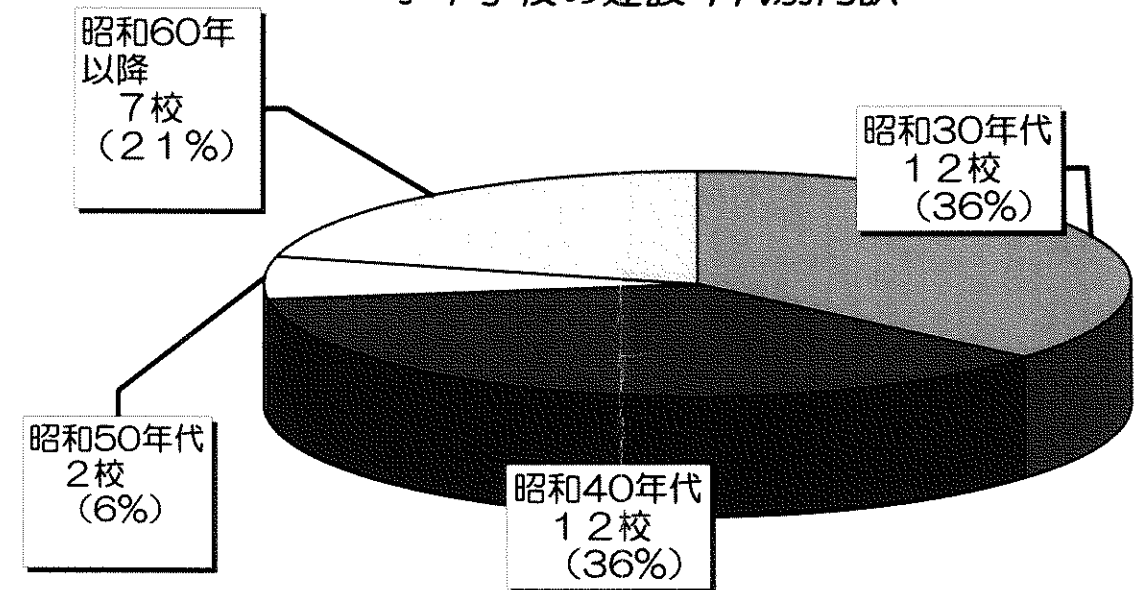
			92	総計
			89	総計(夜間除く)

出典：荒川区教育委員会事務局学務課資料

●小中学校の建設年代別内訳

学校は、その寿命が約50年とも言われているが、区内の小中学校は、平成21年以降、建設後50年を迎え始める。

小中学校の建設年代別内訳



出典：荒川区財政白書(平成16年度)

※構成比(%)は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%とはなりません。

1-3 学校教育

中学校では平成14年度、小学校では、平成15年度の学校選択制導入を機に学区域外就学者が大幅に増加した。

学校選択制導入前後の就学動向の推移(各年度4月1日現在)

小学校

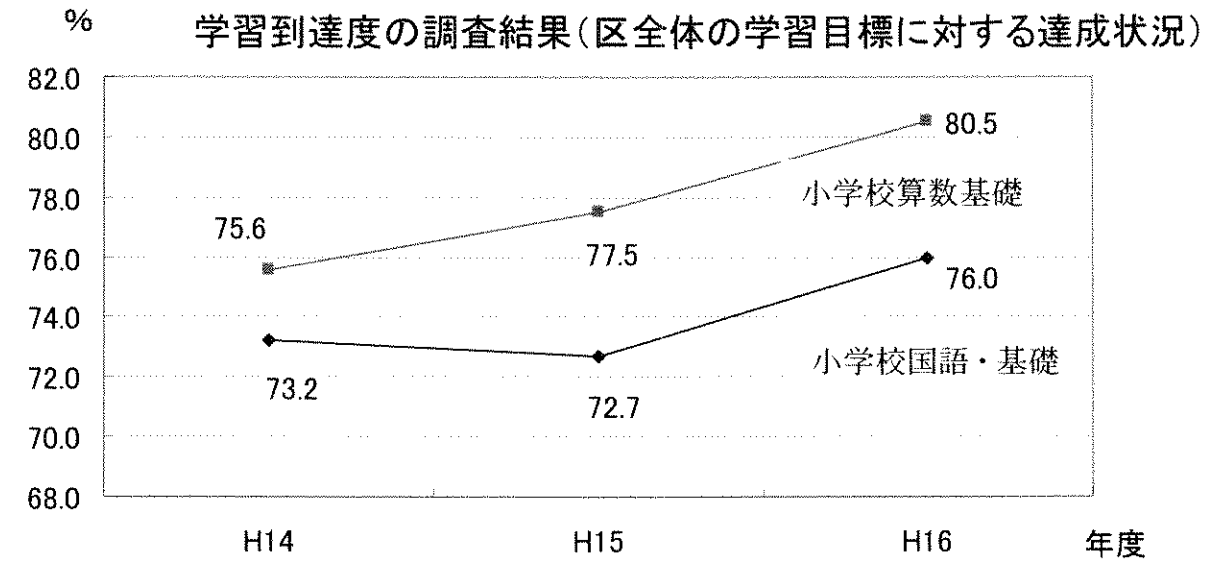
年度	12	13	14	15	16	17	18
1 新入学数の状況							
学齢簿人員数	1,240	1,343	1,250	1,341	1,348	1,258	1,374
新入学数(通常学級)	1,083	1,183	1,113	1,245	1,241	1,181	1,310
最終就学率	87.3%	88.1%	89.0%	92.8%	92.1%	93.9%	95.3%
区外転出入動向	△109	△101	△73	△50	△40	△19	△8
転出	△131	△113	△90	△67	△61	△41	△47
転入	22	12	17	17	21	22	39
国・私立他への就学による減	△48	△59	△64	△46	△67	△58	△56
国・私立	△25	△41	△30	△30	△43	△30	△30
その他	△23	△18	△34	△16	△24	△28	△26
学区域外就学者数(学区外選択・指定校変更)	170	241	210	298	306	281	355
学区域外就学(学区外選択・指定校変更)率	13.7%	17.9%	16.8%	22.2%	22.7%	22.3%	25.8%
2 全体状況							
児童総数	6,830	6,776	6,817	6,922	7,052	7,143	7,352
通常学級	6,774	6,739	6,771	6,877	7,001	7,093	7,302
心障学級	56	37	46	45	51	50	50

中学校

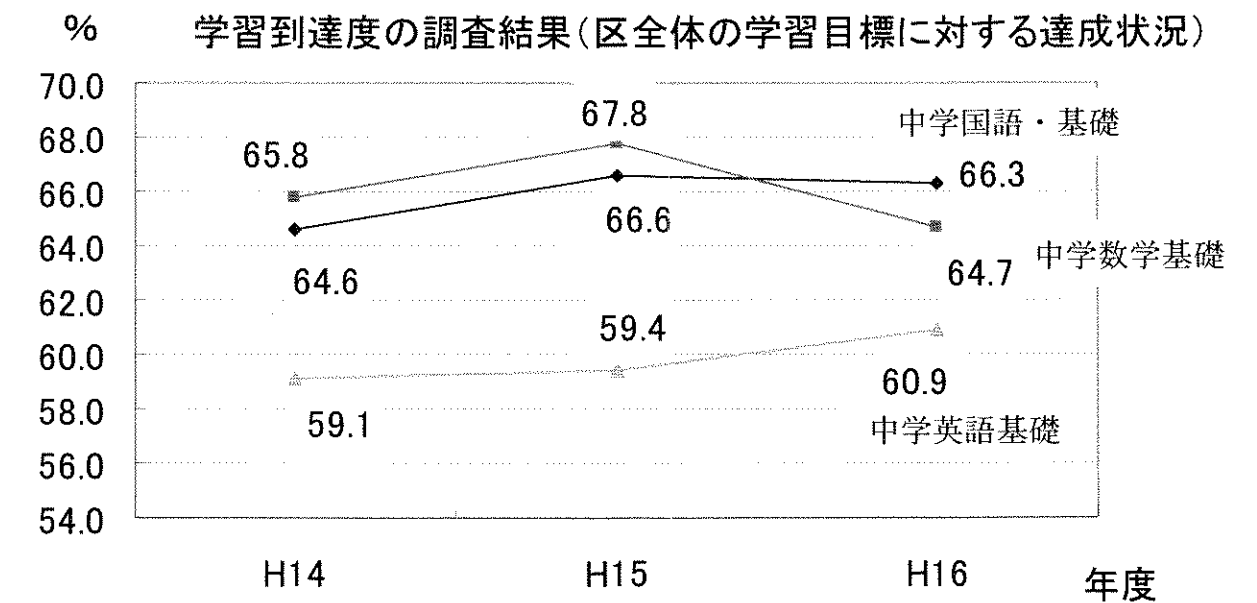
年度	12	13	14	15	16	17	18
1 新入学数の状況							
学齢簿人員数	1,389	1,433	1,324	1,306	1,321	1,279	1,263
新入学数(通常学級)	896	894	873	919	916	923	922
最終就学率	64.5%	62.4%	65.9%	70.4%	69.3%	72.2%	73.0%
区外転出入動向	△143	△126	△119	△27	△18	△31	△39
転出	△162	△147	△143	△46	△57	△62	△57
転入	19	21	24	19	39	31	18
国・私立他への就学による減	△350	△413	△332	△360	△387	△325	△302
国・私立(17年度より都立含む)	△330	△353	△270	△308	△335	△282	△284
その他	△20	△60	△62	△52	△52	△43	△18
学区域外就学者数(学区外選択・指定校変更)	149	170	174	235	224	262	269
学区域外就学(学区外選択・指定校変更)率	10.7%	11.9%	13.1%	18.0%	17.0%	20.5%	21.3%
2 全体状況							
生徒総数	2,771	2,762	2,746	2,775	2,817	2,820	2,839
通常学級	2,719	2,711	2,681	2,711	2,744	2,763	2,772
夜間学級	30	29	33	31	33	22	34
心障学級	22	22	32	33	40	35	33

出典:荒川区教育委員会事務局学務課資料

小学校については、国語・算数ともに基礎的な学習内容についての到達度が、上昇しており、確かな学力の定着・向上が着実に進んでいる。中学校については、到達度が一定の水準で推移している。



出典:荒川区教育委員会事務局指導室資料



出典:荒川区教育委員会事務局指導室資料

1-4 学校教育

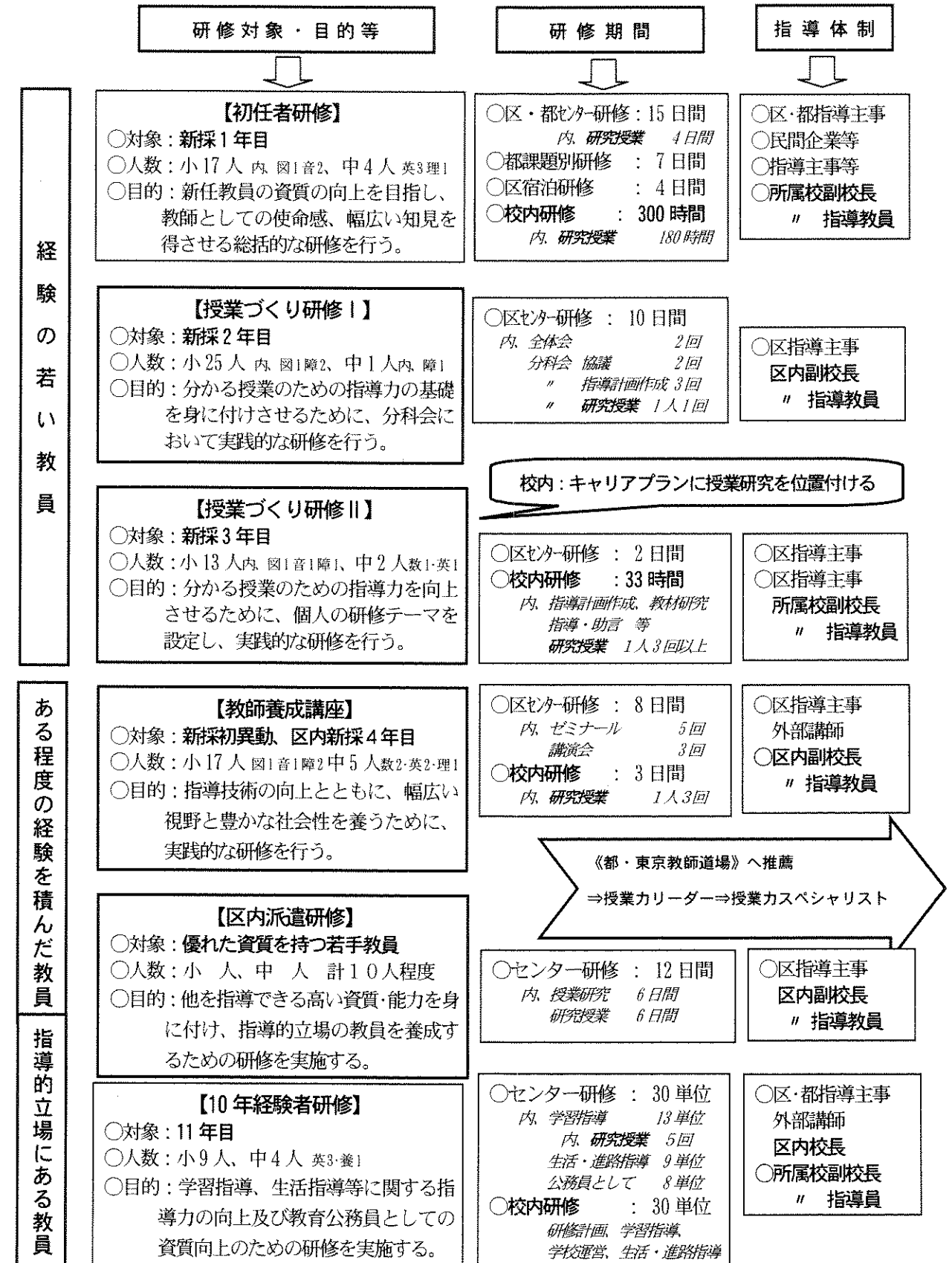
小学校・中学校ともに、学力向上のための調査を開始した平成14年度に比べて、「教科が好きである」「教科の内容が分かっている」と答えた子どもの割合が上昇している。中学校では、小学校に比べて1日あたりの学習時間は増加するが、その反面、1ヵ月あたりの読書量が減少している。

学習意識の調査結果

年度		14年度	15年度	16年度		
小学校	1ヵ月あたりの読書量	8.7	7.4	9.7	(単位:冊)	
	1日あたりの学習時間	平日	67.3	70.5	79.1	(単位:分)
		休日	47.5	49.1	57.8	
	学校に行くのが楽しい	81.7	79.8	80.8	(単位:%)	
	教科が好きである	国語	46.3	69.7	63.0	(単位:%)
		算数	61.9	76.6	73.7	
教科の内容が分かっている	国語	58.0	79.7	80.3	(単位:%)	
	算数	69.6	81.2	82.7		
中学校	1ヵ月あたりの読書量	1.7	1.8	1.9	(単位:冊)	
	1日あたりの学習時間	平日	84.8	96.2	92.6	(単位:分)
		休日	77.8	73.7	74.3	
	学校に行くのが楽しい	77.8	73.7	74.3	(単位:%)	
	教科が好きである	国語	54.7	63.7	62.7	(単位:%)
		算数	44.0	50.1	50.0	
		英語	41.9	51.3	54.2	
	教科の内容が分かっている	国語	47.4	70.2	69.1	(単位:%)
算数		44.2	56.0	55.5		
英語		38.4	52.1	56.0		

出典:荒川区教育委員会事務局学務課資料

平成17年度 荒川区「新たな教員研修体系」



出典:荒川区教育委員会事務局指導室資料

1-5 学校教育

習熟度別学習の充実のために、区独自採用の講師を派遣している。

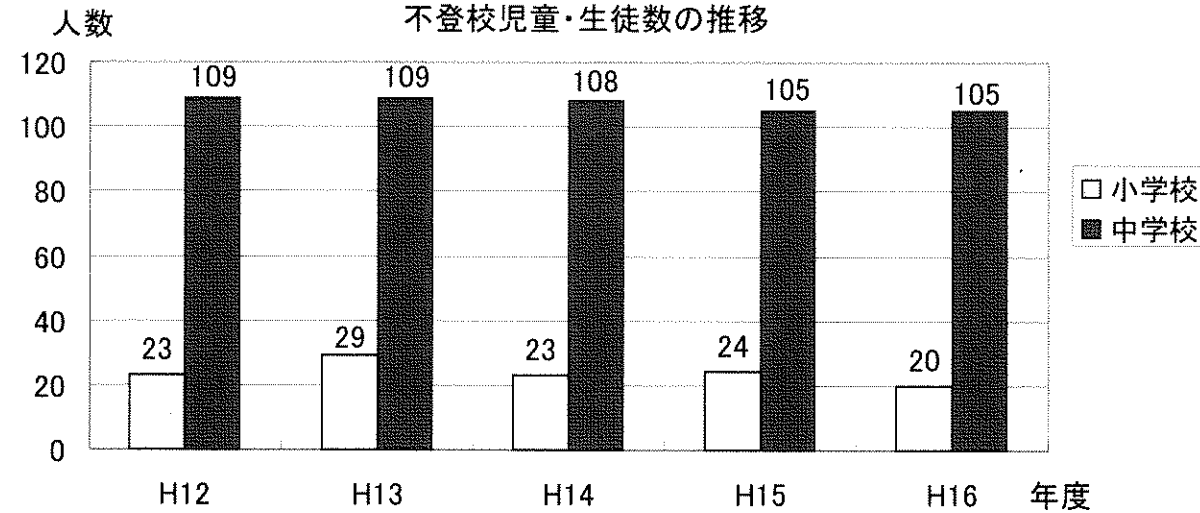
教員数の推移

年度		16年度	17年度	18年度	(単位:人)
小学校	全体数	412	411	413	
	内習熟度別学習等の加配教員数	29	29	29	
	区独自採用の講師数(のべ数)	8	8	8	
中学校	全体数	208	204	198	
	内習熟度別学習等の加配教員数	21	21	21	
	区独自採用の講師数(のべ数)	4	9	11	

出典: 荒川区教育委員会事務局指導室資料

不登校児童・生徒数は微減となっている。

不登校児童・生徒数の推移

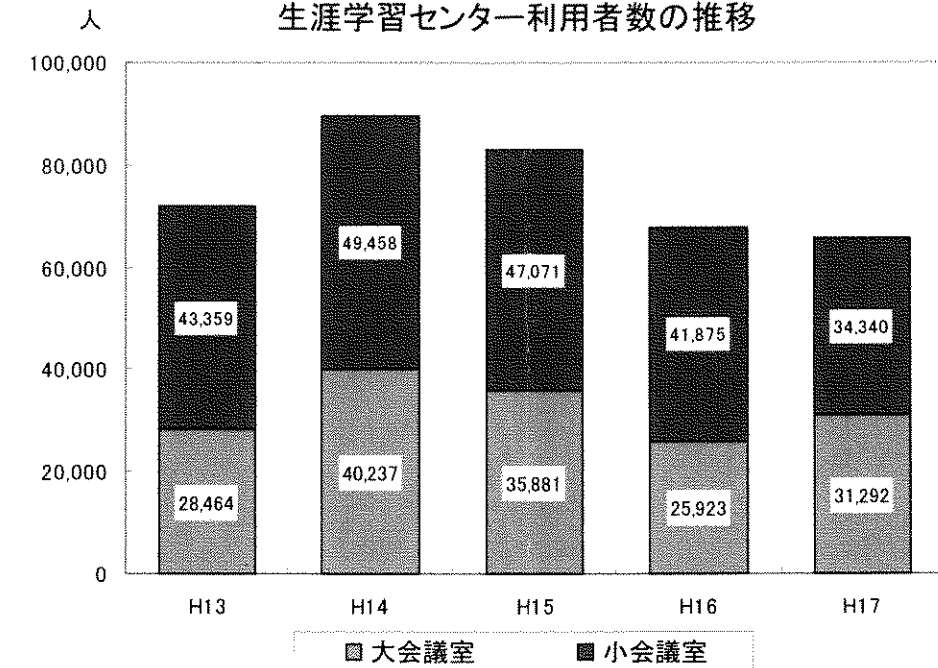


出典: 荒川区教育委員会事務局指導室資料

2 生涯学習・生涯スポーツ

生涯学習センターの会議室の総利用者数は平成14年度をピークに減少している。

生涯学習センター利用者数の推移



(出典: 区政ポケットブック2005)

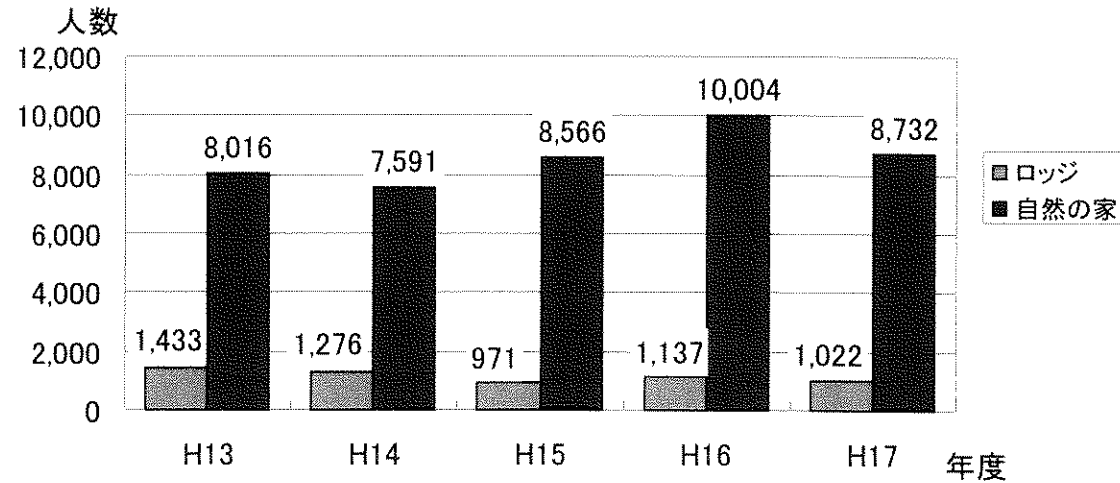
生涯学習センター概要

設置目的	サークル団体活動など、区民が行う芸術・文化・学習・趣味・スポーツの場を提供し、さまざまな分野の生涯学習を支援する。
所在地	荒川3-49-1
開設年月	平成9年7月
延床面積	2,705.24㎡
事業内容	区民カレッジ、サークル活動の支援、学習活動の相談、情報提供、IT学習・専修学校公開講座
施設内容	大会議室、小会議室、音楽室、多目的室、体育館、多目的広場、情報コーナー、コンピュータ室

2-2 生涯学習・生涯スポーツ

清里高原ロッジ・清里少年自然の家の平成12～14年度の利用者数は横ばいだが、平成16年度は利用者数が増加した。

清里高原ロッジ・清里高原少年自然の家利用者数の推移



出典：荒川区教育委員会事務局社会教育課資料

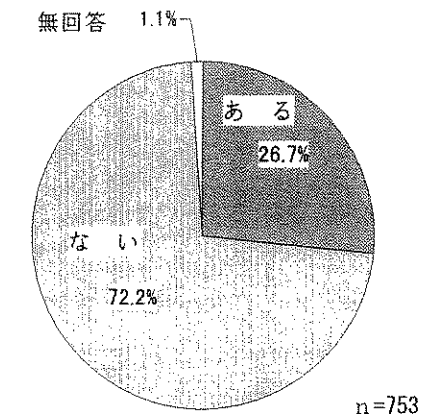
■清里高原ロッジ・清里高原少年自然の家の概要

設置目的	豊かな自然環境の中での集団生活を通じて青少年の豊かな心を養うとともに、区民などが山村で文化交流を深め、健康増進をはかる。
所在地	山梨県北杜市高根町清里3545-5
開設年月	昭和58年4月
延床面積	3,999,964㎡ (ロッジ809,995㎡ 自然の家3,189,969㎡)
事業内容	ロッジ：区民の清里高原山村の生活体験及び山村住民との交流 自然の家：区内の少年団体及び区立小・中学校の移動教室、高原学園
施設内容	ロッジ：宿泊室、研修室、食堂、浴室、事務室等 自然の家：宿泊室、研修室、リーダー室、談話室、食堂、体育室、浴室等
定員	ロッジ：35名 自然の家：200名

●生涯学習に関する区政世論調査

生涯学習の活動経験をみると、「ある」は26.7%、「ない」が72.2%となっている。

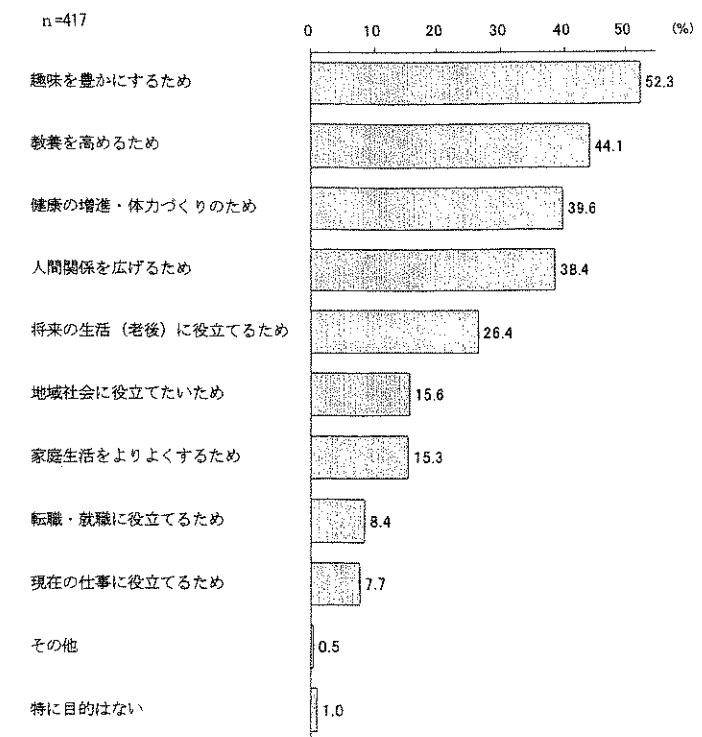
生涯学習の活動状況



出典：第27回区政世論調査（平成14年）

生涯学習活動を行う目的をみると、「趣味を豊かにするため」(52.3%)が最も多く、半数以上となっている。

生涯学習活動を行う目的

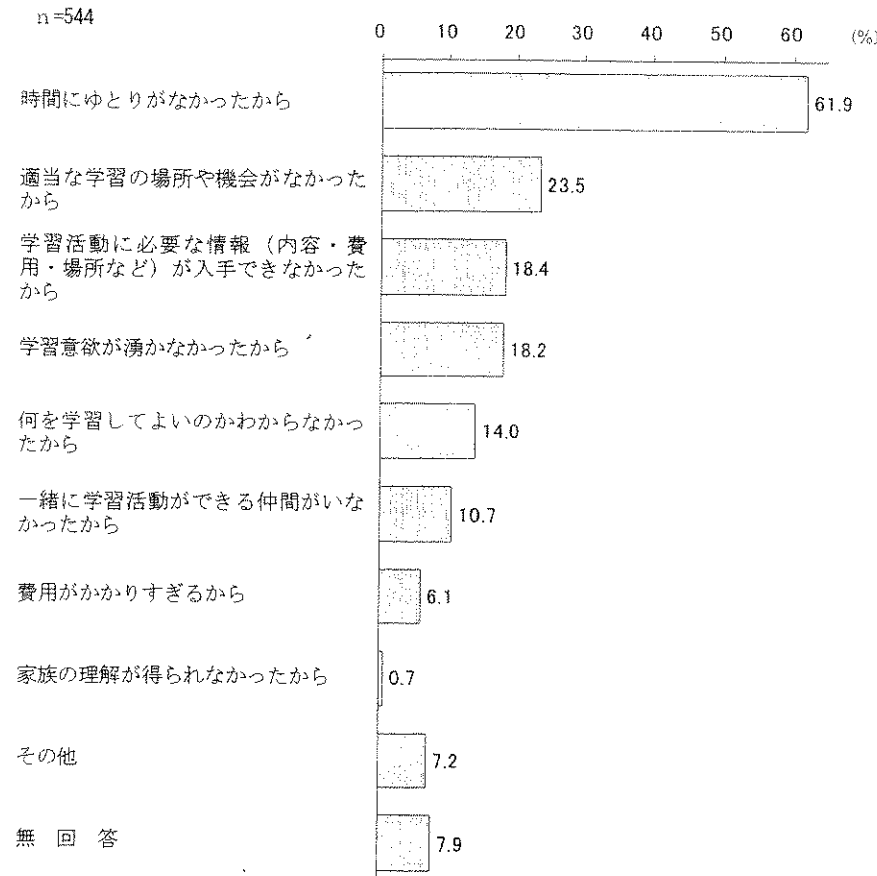


出典：第27回区政世論調査（平成14年）

2-3 生涯学習・生涯スポーツ

生涯学習活動を行わなかった理由をみると、「時間にゆとりがなかったから」(61.9%)が最も多く、6割を超えている。

生涯学習活動を行わなかった理由



出典：第27回区政世論調査(平成14年)

区立図書館の概要

図書館名	所在地	開設年月日	延床面積
南千住図書館	南千住6-63-1	H10.5.1	1,557.3m ²
荒川図書館	荒川4-27-2	S37.3.2	1,165.29m ²
尾久図書館	西尾久3-12-12	S46.9.23	1,201.82m ²
町屋図書館	町屋5-11-18	S51.10.1	都営住宅敷地内 1,045.44m ²
日暮里図書館	東日暮里6-38-4	S54.6.11	1,369.66m ²

図書館の入館者数はほぼ横ばいだが、貸し出し者数、貸し出し冊数は増加傾向にある。

区立貸出冊数等年度別推移

区分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
区人口	172,504	173,740	175,136	175,763	177,216	177,846
蔵書数(冊)	682,332	680,849	690,092	700,898	706,220	700,301
登録者数(人)	53,799	53,219	53,901	54,018	52,490	51,492
登録率(%)	31.2	30.6	30.8	30.7	29.6	29.1
入館者数	1,140,227	1,084,844	1,103,180	1,137,114	1,123,777	1,126,719
個人貸出者数	424,005	417,48	432,903	458,238	483,430	515,012
個人貸出冊数(冊)	1,284,357	1,237,355	1,271,077	1,326,715	1,351,568	1,395,858
総貸出点数(点)	1,582,400	1,522,134	1,562,742	1,639,728	1,668,131	1,726,184
予約件数(件)	80,484	97,522	142,247	181,854	270,573	327,310
インターネット予約	-	20,857	60,904	93,210	143,815	186,805

出典：区教育委員会事務局南千住図書館資料

図書冊数、貸し出し冊数、図書費ともに、23区平均より高く、また、同規模自治体の平均と比べてみても高水準となっている

人口1人あたりの図書冊数、貸出冊数、図書費の比較(平成16年度)

区分	単位	荒川区	23区平均	23区中順位	人口15万-20万人の市平均
図書冊数	冊	3.7	3.0	7位	2.6
貸出冊数	冊	7.6	7.5	8位	5.3
図書費	円	305	234	9位	156

「日本の図書館2004、2005」(日本図書館協会)による。図書費は、平成16年度予算額。

出典：区教育委員会事務局南千住図書館資料

2-4 生涯学習・生涯スポーツ

区内スポーツ施設の概要

施設名	荒川総合スポーツセンター	あらかわ遊園スポーツハウス	区民運動場	東尾久運動場	南千住野球場																																																							
所在地	南千住 6-45-5	西尾久 8-3-1	西尾久 3-14-3	東尾久 7-1-1	南千住 6-45-5																																																							
開設年月日	昭和60年6月	平成5年6月	昭和54年3月	平成3年5月	昭和57年7月																																																							
敷地・延床面積	(敷地) 6,412.09㎡ (延床) 12,073.87㎡	(延床) 4,493.12㎡	(敷地) 9,999.43㎡	(敷地) 26,663㎡	(敷地) 17,415㎡																																																							
施設内容	温水プール、大体育室、小体育室、卓球場、武道場、弓道場、エアライフル場、クラブ室、会議室	温水プール、アリーナ、トレーニングルーム、会議室、ギャラリー	200mトラック(直線100m)、庭球場4面、トラック内ゲートボール等の利用可	庭球場5面、多目的広場(少年野球、サッカー等兼用)1面、小広場(ゲートボール場3面)	大人・少年兼用野球場2面、軟式																																																							
利用実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>532,684</td> <td>575,624</td> <td>508,058</td> <td>514,344</td> </tr> </tbody> </table>		14年度	15年度	16年度	17年度	利用者数(人)	532,684	575,624	508,058	514,344	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>194,812</td> <td>191,507</td> <td>181,817</td> <td>171,844</td> </tr> </tbody> </table>		14年度	15年度	16年度	17年度	利用者数(人)	194,812	191,507	181,817	171,844	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数(件)</td> <td>2,478</td> <td>2,262</td> <td>2,167</td> <td>2,028</td> </tr> </tbody> </table>		14年度	15年度	16年度	17年度	利用件数(件)	2,478	2,262	2,167	2,028	<table border="1"> <thead> <tr> <th>利用件数(件)</th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>庭球場</td> <td>8,605</td> <td>8,802</td> <td>8,012</td> <td>10,009</td> </tr> <tr> <td>多目的広場</td> <td>582</td> <td>659</td> <td>673</td> <td>782</td> </tr> </tbody> </table>	利用件数(件)	14年度	15年度	16年度	17年度	庭球場	8,605	8,802	8,012	10,009	多目的広場	582	659	673	782	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数(件)</td> <td>1,297</td> <td>1,256</td> <td>1,398</td> <td>1,433</td> </tr> </tbody> </table>		14年度	15年度	16年度	17年度	利用件数(件)	1,297	1,256	1,398	1,433
	14年度	15年度	16年度	17年度																																																								
利用者数(人)	532,684	575,624	508,058	514,344																																																								
	14年度	15年度	16年度	17年度																																																								
利用者数(人)	194,812	191,507	181,817	171,844																																																								
	14年度	15年度	16年度	17年度																																																								
利用件数(件)	2,478	2,262	2,167	2,028																																																								
利用件数(件)	14年度	15年度	16年度	17年度																																																								
庭球場	8,605	8,802	8,012	10,009																																																								
多目的広場	582	659	673	782																																																								
	14年度	15年度	16年度	17年度																																																								
利用件数(件)	1,297	1,256	1,398	1,433																																																								
施設名	西新井橋野球場	少年野球場	荒川自然公園内運動施設	あらかわ遊園運動場																																																								
所在地	足立区千住元町 36-7 先	足立区小台 1-22 先	荒川 8-25-3	西尾久 8-3-1																																																								
開設年月日	昭和34年4月	昭和45年11月	昭和49年4月	昭和62年4月、平成5年10月改修																																																								
敷地・延床面積	(敷地) 32,954㎡	(敷地) 31,013㎡	(敷地) 8,572㎡	(敷地) 5,430㎡																																																								
施設内容	大人用5面、軟式	少年野球場6面、軟式、サッカー場(大人・少年兼用)1面	庭球場5面、多目的広場(少年野球、サッカー等兼用)1面、小広場(ゲートボール場3面)	少年野球、サッカー、ゲートボール等に使用する多目的広場																																																								
利用実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数(件)</td> <td>1,579</td> <td>1,498</td> <td>1,450</td> <td>1,950</td> </tr> </tbody> </table>		14年度	15年度	16年度	17年度	利用件数(件)	1,579	1,498	1,450	1,950	<table border="1"> <thead> <tr> <th>利用件数(件)</th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サッカー場</td> <td>406</td> <td>473</td> <td>464</td> <td>611</td> </tr> <tr> <td>少年野球場</td> <td>2,563</td> <td>2,721</td> <td>2,786</td> <td>3,024</td> </tr> </tbody> </table>	利用件数(件)	14年度	15年度	16年度	17年度	サッカー場	406	473	464	611	少年野球場	2,563	2,721	2,786	3,024	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数(件)</td> <td>9,096</td> <td>8,768</td> <td>8,544</td> <td>6,619</td> </tr> </tbody> </table>		14年度	15年度	16年度	17年度	利用件数(件)	9,096	8,768	8,544	6,619	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数(件)</td> <td>692</td> <td>678</td> <td>511</td> <td>541</td> </tr> </tbody> </table>		14年度	15年度	16年度	17年度	利用件数(件)	692	678	511	541											
	14年度	15年度	16年度	17年度																																																								
利用件数(件)	1,579	1,498	1,450	1,950																																																								
利用件数(件)	14年度	15年度	16年度	17年度																																																								
サッカー場	406	473	464	611																																																								
少年野球場	2,563	2,721	2,786	3,024																																																								
	14年度	15年度	16年度	17年度																																																								
利用件数(件)	9,096	8,768	8,544	6,619																																																								
	14年度	15年度	16年度	17年度																																																								
利用件数(件)	692	678	511	541																																																								

2-5 生涯学習・生涯スポーツ

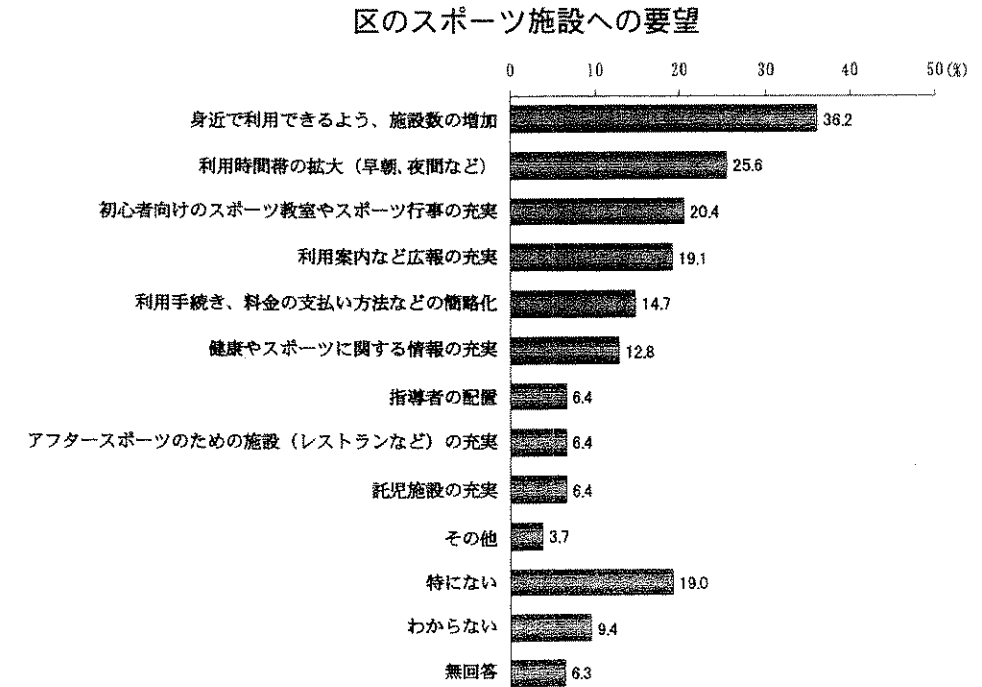
荒川区体育協会 平成17年度下部組織一覧

団体名	下部組織 チーム数	下部組織 人数
合気道連盟	8チーム	428
居合同連盟	個人会員のみ	40
空手道連盟	8チーム	315
弓道連盟	2チーム	76
クレー射撃連盟	4チーム	227
ゲートボール協会	16チーム	102
剣道連盟	18チーム	499
サッカー協会	47チーム	960
柔道会	2団体	87
少林寺拳法連盟	2チーム	75
水泳連盟	個人会員のみ	40
スキー連盟	個人会員のみ	59
ソフトテニス連盟	12チーム	325
卓球連盟	28チーム	355
釣魚連合会	8チーム	521
テニス連盟	38チーム	825
軟式野球連盟	143チーム	2145
	少年野球18団体	631
バスケットボール協会	18チーム	200
バドミントン協会	16チーム	196
バレーボール協会	48チーム	629
ビーチボール協会	81チーム	409
ボウリング協会	個人会員のみ	96
ライフル射撃協会	個人会員のみ	20
ラジオ体操会連盟	59チーム	1516
陸上競技協会	2チーム	82
合計		10858

出典: 荒川区教育委員会事務局社会体育課資料

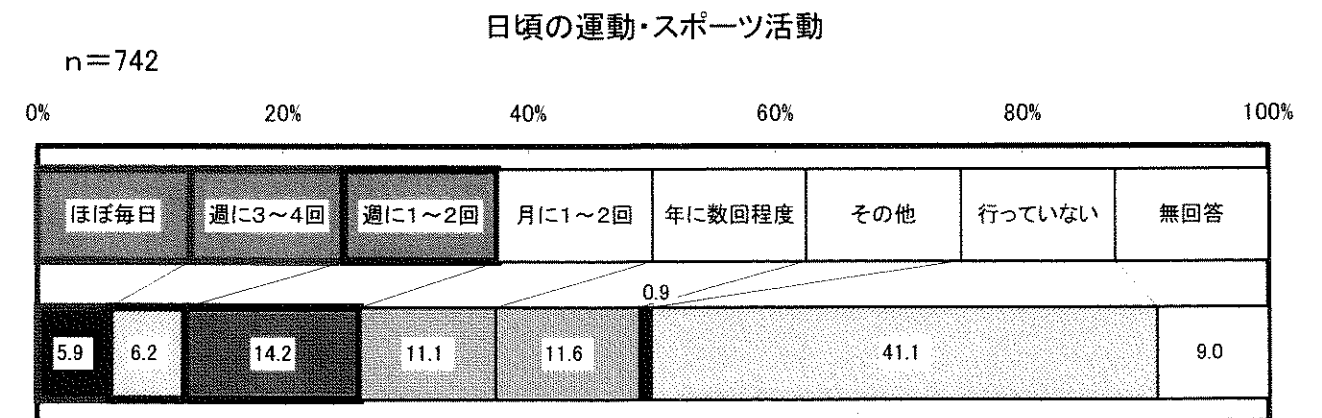
●スポーツ活動等に関する区政世論調査結果

区のスポーツ施設への要望を見ると、「身近で利用できるよう、施設数の増加」(36.2%)が最も多く、3割台半ばを超えている。



出典: 第28回荒川区世論調査(平成15年)

週1回以上運動やスポーツ活動を行っている人は、「ほぼ毎日」(5.9%)、「週に3~4回」(6.2%)、「週に1~2回」(14.2%)を合わせて26.3%であった。また、運動やスポーツ活動を「行っていない」人は41.1%であった。



出典: 第30回荒川区世論調査(平成17年)

3 文化

荒川区登録・指定文化財認定数一覧

名称	登録文化財	区登録	区指定	都指定	国指定
有形文化財	110	85	24	1	0
建築物	9	7	1	1	
絵画	7	6	1		
彫刻	12	11	1		
工芸品	2	2	0		
古文書	17	12	5		
考古資料	2	1	1		
歴史資料	61	46	15		
無形文化財	59	40	19	0	0
芸能	0	0	0		
工芸技術	59	40	19		
有形民俗文化財	40	33	7	0	0
無形民俗文化財	1	0	0	0	1
記念物	31	24	1	6	0
史跡	30	24	1	5	
天然記念物	1	0	0	1	
総数	241	182	51	7	1

(H18年3月31日現在)
出典:荒川ふるさと文化館資料

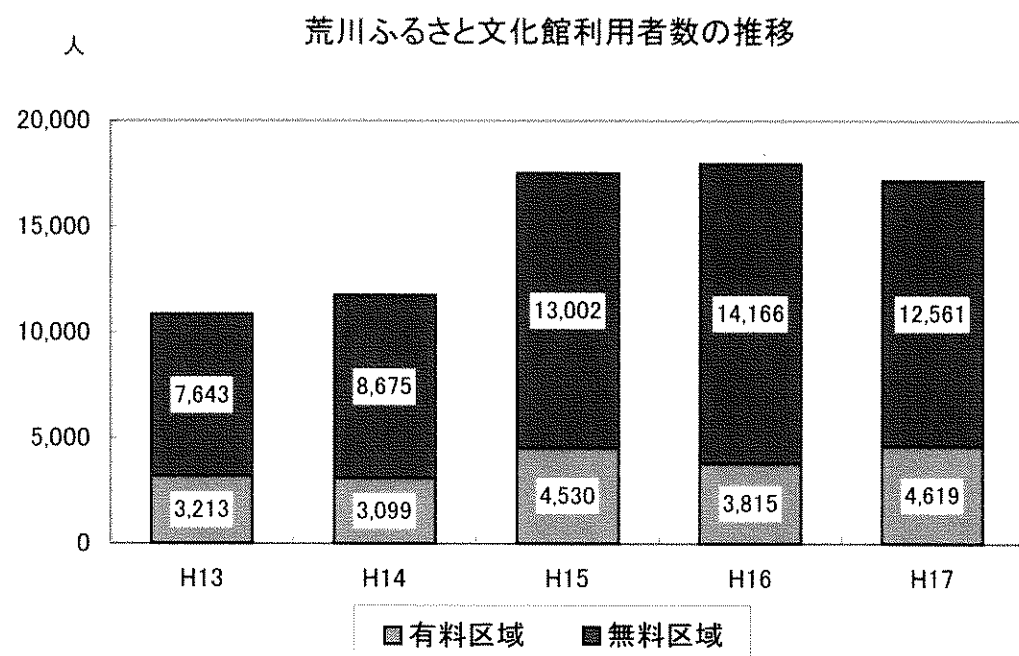
指定文化財一覧

	名称[所有者等]	指定月日
国指定	無形民俗文化財 江戸の里神楽[松本社中]	H6. 12
都指定	有形文化財(建造物) 三河島処理場旧主ポンプ室及び関連施設[東京都(下水道局)]	H15. 3. 6
	記念物(旧跡) 彰義隊戦死者墓[円通寺]	S13. 10. 7
	永井尚志の墓[本行寺]	S 3. 8
	市河寛斎の墓[本行寺]	S 3. 8
	市河米庵の墓[本行寺]	S 3. 8
	初代・二代・松林伯田墓[南泉寺]	S54. 3. 31
	記念物(天然記念物) 延命院のシイ[延命院]	S 5・6・2
区指定	有形文化財(建造物) 養福寺仁王門[養福寺]	H元. 2. 16
	有形文化財(絵画) 絹本着色献上鶴図[伊藤精彦]	H14. 11. 11
	有形文化財(彫刻) 銅造地藏菩薩立像[浄光寺]	S61. 2. 13
	有形文化財(古文書) 上尾久村村絵図[八幡神社]	H2. 2. 16
	小塚原村絵図(全三部)[荒川区教育委員会]	S63. 2. 15
	浄閑寺過去帳[浄閑寺]	H元. 2. 16
	両岸渡世向書物[吉田延子]	H9. 12. 12
	伊藤家文書[荒川区教育委員会]	H5. 11. 18
	有形文化財(考古資料) 日暮里延命院貝塚出土品一括[荒川区教育委員会]	H3. 2. 6
	有形文化財(歴史資料) 板碑(文明十五年十月七日銘他)[地藏寺]	H2. 10. 9
	松尾芭蕉の碑[素盞雄神社]	S60. 2. 15
	談林派歴代の句碑[養福寺]	H4. 10. 13
	滝沢馬琴筆塚の碑[青雲寺]	S63. 2. 15
	旧上野の黒門[円通寺]	S59. 10. 17
	道灌丘碑[本行寺]	S61. 2. 13
	亀田鵬斎の詩碑[石浜神社]	S62. 2. 14
	小塚原の首切地蔵[回向院]	S61. 2. 13
	加藤雀庵文・長谷川雪巨画・森昌庵追慕の碑[素盞雄神社]	H2. 10. 9
	板碑四基(永仁四年十月日銘他)[円通寺]	H4. 2. 7
	鹿香神社関係資料(石碑二基、由緒書木板1面、扁額1面)[石浜神社]	H4. 2. 7
	板碑(光明遍照偈板碑)[華藏院]	H9. 12. 12
	板碑(年未詳)[誓願寺]	H9. 12. 12
	宝篋印塔二基(明德二年銘他)[荒川区教育委員会]	H7. 12. 8
	八幡神社棟札[八幡神社]	H6. 10. 5
	無形文化財(工芸技術) 歌舞伎衣裳刺[林 秀雄(二代目縫徳)]	S60. 2. 15
	木版画摺[関岡功夫(扇令)]	S60. 2. 15
	桐たんす[川俣善七(善修)]	H1. 2. 16
	金槌[高野由治]	H4. 2. 7
	のれん染[片山一雄]	H4. 10. 13
	仏壇[飯岡時三郎]	H5. 11. 18
	額縁[吉田吉治]	H7. 12. 8
	手植ブラン[田口謹一]	H8. 12. 20
	すだれ[小山孝治]	H9. 12. 12
	桐箱[関根 英]	H9. 12. 12
	和竿[中根喜三郎(竿忠)]	H12. 3. 1
	裁鋏[石塚昭一郎(長太郎)]	H12. 12. 26
	裁鋏[岡本勝廣(長勝)]	H12. 12. 26
	更紗染[真田定男(更甚)]	H14. 2. 15
	桶[小林信男]	H14. 2. 15
	桐たんす[町田金三郎]	H14. 11. 11
	菓子木型[伊藤長壽(型蝶)]	H16. 2. 2
	刷毛[関根起吉]	H17. 1. 17
	衣裳着人形[竹中重男(幸甫)]	H18. 1. 13
	有形民俗文化財 阿弥陀三尊来迎図像庚申塔(正保四年二月吉日銘)[稲荷神社]	H16. 2. 2
	袈裟塚の耳無不動	H元. 2. 16
	木造布袋尊像[修性院]	H元. 2. 16
	庚申塔群三基(慶安五年「本地青面金剛待」銘他)	H14. 2. 15
	庚申塔群三基(寛文十三年二月八日銘)[素盞雄神社]	H18. 1. 13
	三河島山車人形・熊坂長範[荒川中央町会]	H17. 1. 17
	三河島山車人形・稲田姫[荒川四丁目西仲睦会・荒川文化会・大西町会・荒川宮地町会]	H17. 1. 17
	記念物(史跡) 小塚原刑場跡(回向院)	H18. 1. 13

出典:荒川ふるさと文化館資料

3-2 文化

無料区域の利用者数は平成14年度と平成15年度を境に飛躍的に増加した。



(出典: 区政ポケットブック2005)

■荒川ふるさと文化館の概要

設置目的	郷土あらかわの歴史・文化を楽しみながら学び、探求する施設。
所在地	南千住6-63-1 南千住図書館併設
開設年月	平成10年5月
延床面積	5,270.69㎡
事業内容	企画展、館蔵資料展、伝統技術展、文化財講座、地域史講座、古文書講座、史跡めぐり、学校職人教室、子供向け講座(土器づくり)など
施設内容	常設展示室、企画展示室、郷土学習室、視聴覚室、研修室

荒川区文化団体連盟加盟団体一覧

名称	発足年月	会員数
荒川区日本舞踊連盟	S32.8	40名
荒川区音楽連盟	S33.3	22団体614人
全荒川写真連盟	S28.6	77名
荒川区民踊連盟	S33.9	14団体300名
荒川区謡曲連盟	S26.11	200名
荒川区華道茶道文化会	S27.11	261名
荒川区俳句連盟	S27.5	
荒川区囲碁連盟	S41.11	11団体525名
荒川区民謡協会	S40.4	21団体459名
荒川菊花会	S42.11	35名
荒川区吟剣詩舞道連盟	S47.8	14団体250名
荒川盆栽山野草会	S48.3	61名
荒川盤景会	S49.3	31名
荒川美術刀剣連盟	S51.4	70名
荒川区ソーシャルダンス連盟	S55.9	16団体320名
荒川史談会	S41.4	170名
荒川区書道連盟	S57.6	280名
荒川区美術連盟	S57.7	117名
荒川区大太鼓連盟	S58.7	8団体230名
荒川区邦楽連盟	S59.2	257名
荒川区洋舞連盟	H元.9	200名
荒川区歌謡協会	S60.3	341名

※会員数は平成13年時点の数

出典: 荒川区教育委員会事務局社会体育課資料

3-4 文化

区内に設置された彫刻一覧

彫刻名	製作者	設置場所	設置年度	材質等
1 露の季節	藤巻 英正	南千住6丁目グリーンスポット	平成4年	ブロンズ
2 昇華(しょうか)	重岡 建治	荒川総合スポーツセンター周辺	昭和60年	アルミニウム
3 馬上のあの人	黒川 晃彦	荒川総合スポーツセンター周辺	昭和60年	ブロンズ
4 After noon	嶺田 義郎	荒川総合スポーツセンター周辺	昭和60年	ブロンズ
5 愛の変容	工藤 健	荒川総合スポーツセンター周辺	昭和60年	ブロンズ
6 影	浦山 一雄	荒川総合スポーツセンター周辺	昭和60年	ブロンズ
7 光影(こうえい)	橋本 次郎	荒川総合スポーツセンター周辺	昭和60年	ブロンズ
8 春のうたが聞こえる	御正 進	荒川総合スポーツセンター周辺	昭和60年	ブロンズ
9 晨(あした)	朝倉 響子	サンパール荒川(2階)	昭和49年	ブロンズ
10 ふるさと	小鹿 尚久	サンパール荒川(ホール)	昭和49年	石膏
11 海鳥と少年	淀井 敏夫	サンパール荒川(ロビー)	昭和49年	ブロンズ
12 フェニックスの翼	澄川 喜一	サンパール荒川	平成4年	ステンレス
13 裸婦	永田 辰二	サンパール荒川	昭和50年	
14 森の詩(もりのうた)	御正 進	高齢者センター	平成7年	ブロンズ
15 夢	北村 西望	荒川公園	昭和57年	アルミニウム
16 競技者	横山 五	区役所(ロビー)	昭和56年	ブロンズ
17 プール	神野 義衛	荒川図書館	昭和36年	
18 吉祥天像	平野 千里	町屋文化センター(2階)	平成4年	楠木
19 大空のはばたき	御正 進	荒川八丁目公園	平成6年	ブロンズ
20 波(WAVE)	鷹尾 俊一	荒川自然公園	昭和63年	ブロンズ
21 重奏(じゅうそう)	日高 頼子	荒川自然公園	昭和63年	ブロンズ
22 風孝一空へ	嶺田 義郎	荒川自然公園	昭和63年	ブロンズ
23 愛	一色 邦彦	一本松グリーンスポット	平成5年	ブロンズ
24 八幡堀モニュメント		尾久八幡公園	平成元年	鍛鉄
25 空を見る少女	掛井 五郎	小台橋上流部橋詰	平成4年	ブロンズ
26 笑う少女	北村 西望	あらかわ遊園内	平成4年	ブロンズ
27 聖なるもののリビドー空へ	本田 貴侶	あらかわ遊園交番脇		ブロンズ
28 風の軌跡III	大隅 秀雄	あらかわ遊園運動場内	昭和61年	ジュラルミン
29 母と子供たち	平井 一雄	あらかわ遊園運動場内	昭和61年	黒花崗岩
30 夢色の風	津野 充聡	あらかわ遊園スポーツハウス前	平成7年	ブロンズ
31 三級天使の日曜日	山本 信	あらかわ遊園ローラースケート前	昭和61年	FRP
32 Kissing Fish	加藤 歌奈衛	あらかわ遊園ローラースケート前	昭和61年	花崗岩
33 ウェザー・ガール	関 正司	あらかわ遊園ローラースケート前	昭和61年	ジュラルミン
34 躍動の像	橋本 活道	日暮里南公園	昭和60年	ブロンズ
35 損失した森から	吉村 榮雄	日暮里南公園	昭和62年	花崗岩

彫刻名	製作者	設置場所	設置年度	材質等
36 躍動	重岡 建治	日暮里南公園	昭和62年	アルミニウム
37 黒い天使	吉田 隆	日暮里中央通り	昭和62年	ブロンズ
38 月涼(げつりょう)	雨宮 敬子	日暮里サニーホール	平成元年	ブロンズ
39 闘うデボラ	岡村 謹史	日暮里中央通り	昭和62年	黒花崗岩
40 響 Echo	小堤 良一	日暮里区民事務所前	昭和62年	ブロンズ
41 雲の上	宮澤 光造	日暮里中央通り	昭和62年	花崗岩
42 豊穡の門	深田 充夫	日暮里中央通り	昭和62年	花崗岩
43 BLACK uniform	浦山 一雄	せせらぎの小径(三河島駅南)	平成3年	ブロンズ
44 大田道灌騎馬像	橋本 活道	日暮里駅前	平成元年	ブロンズ
45 環(かん)	立川 義明	西日暮里公園	平成4年	ブロンズ
46 飛翔	平野 千里	西日暮里5丁目交差点※	平成4年	ブロンズ
47 タヤけの詩	重岡 建治	日暮里公園	昭和61年	
48 もう来るかな?	酒場 保夫	男女平等推進センター	平成8年	楠木
49 アップルエンジェル	立川 義明	小台通り(アップルロード)	平成8年	ブロンズ
50 鼓動(こどう)	御正 進	ムーブ町屋	平成9年	ブロンズ
51 どうぞ!	渡邊 敏泰	東尾久5丁目児童遊園	平成9年	ブロンズ
52 夢現(むげん)	浦山 一雄	荒川ふるさと文化館前	平成10年	ブロンズ
53 芭蕉・旅立ち	平野 千里	荒川ふるさと文化館1階	平成10年	楠木
54 神馬	平野 千里	荒川ふるさと文化館	平成10年	木彫り
55 ドナウの調べ	御正 進	南千住駅前ドナウ広場	平成14年	ブロンズ

※日暮里・舎人線工事のため、現在移設中。

出典: 荒川区区民生活部文化交流推進課資料

3-5 文化

国内都市間交流の現状①

都市名	交流の契機	交流事業	提携の内容
埼玉県荒川村 (現秩父市) 平成17年4月1日合併	区制50周年記念事業の一環として、荒川の上流と下流で結ばれる同じ名の自治体として姉妹友好協定が結ばれ、交流が始まる。	・リンゴとSLの旅事業を実施 ・リンゴの木オーナー制による区民収穫体験事業実施(平成16年度終了) ・しだれ桜を観る会への参加 ・川の手荒川まつり出店 ・高年者クラブによる民謡を通じた交流 ・区議会による荒川村訪問	・姉妹都市提携(昭和56年調印) ・災害時相互応援協定(平成7年調印)
千葉県大多喜町	昭和60年、区のレンゲ祭りに大多喜町からレンゲプランターの寄贈を受けたことから交流が始まる。	・区民たけのこ狩り事業を実施 ・大多喜お城まつりへに太鼓団体派遣 ・大多喜レンゲまつりに区内障害者団体が招待を受ける。 ・川の手荒川まつりに出店	・友好都市提携 ・災害時相互応援協定(共に平成7年調印)
新潟県吉川町 (現上越市) 平成17年1月1日合併	吉川町の新潟県人会が区内で開催されたことを契機に昭和62年から交流が始まる。	・越後吉川酒まつりに出店団体派遣 ・川の手荒川まつり出店	・災害時相互応援協定(平成7年調印)
山梨県高根町 (現北杜市) 平成16年11月1日合併	昭和58年、高根町に清里高原ロッジ・少年自然の家管理委託を始めたことを契機に交流が始まる。	・高根町いきいきふるさと祭りに出店団体派遣 ・川の手荒川まつり出店	
千葉県鴨川市 平成17年2月11日天津小湊町と合併	昭和62年から実施している区内小・中学生による農家ホームステイと農・漁業体験事業を契機に交流が始まる。	・シー・フェスタ・イン鴨川に出店団体派遣 ・自然まるかじり体験塾事業実施 ・川の手荒川まつり出店	・友好都市提携(平成3年調印) ・災害時相互応援協定(平成7年調印)
福島県福島市	平成6年、学童集団疎開50周年を契機に交流が始まる。	・区民がグリーンツーリズム事業に参加 ・桃の花枝の寄贈と市長による桃のトップセールスの実施 ・川の手荒川まつり出店	・災害時相互応援協定(平成18年調印)
福島県桑折町 (コリ)	平成6年、学童集団疎開50周年を契機に交流が始まる。	・桃の郷まつりに出店団体派遣 ・川の手荒川まつりに出店	
福島県石川町	平成6年、学童集団疎開50周年を契機に交流が始まる。	・川の手荒川まつりに出店	・災害時相互応援協定(平成8年調印)
岩手県釜石市	市の防災行政無線での荒川区民の歌の使用を契機に交流が始まる。	・釜石市まるごと味覚フェスティバルに出店団体派遣 ・川の手荒川まつりに出店	・災害時相互応援協定(平成11年調印)

国内都市間交流の現状②

都市名	交流の契機	交流事業	提携の内容
新潟県荒川町	平成8年、川の手まつりに参加し交流が始まる。	川の手荒川まつりに出店	
富山県下村 (現射水市) 平成17年11月1日合併	平成11年、川の手まつりに参加し交流が始まる。		
山形県鮭川村	平成15年、川の手まつりに村長が訪問され、交流が始まる。		
茨城県潮来市	潮来市出身の区民の縁で議員有志等が平成16~17年に相互に訪問し、交流が始まる。		
福井県	平成16年に知事が荒川区を訪問したことを契機に交流が始まる。		
福島県東和町 (現二本松市) 平成17年12月1日合併	町長が平成17年の川の手荒川まつりに参加し交流が始まる。	川の手荒川まつりへの出店を予定	
福島県小野町	平成17年、町長が荒川区を訪問したことを契機に交流が始まる。	川の手荒川まつりへの出店を予定	

出典: 荒川区区民生活部文化交流推進課資料

3-6 文化

海外都市間交流の現状①

都市名	交流の契機	主な交流事業	提携の内容
オーストリア、ウィーン市ドナウシュタット区 (以下「ド区」という。) 面積：102km ² 人口：14万人	<ul style="list-style-type: none"> 平成4年、両区の児童会画展を相互に開催したことを契機に交流が始まる。 両区訪問団による相互訪問、ド区高校生の受入、荒川少年少女合唱団のド区訪問(平成7年)等の交流を経て、平成8年に友好都市協定の調印を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 両区長による相互訪問(平成5年～8年) 区内在住高校生の派遣(平成9年度より毎年6名程度) ド区高校生の区内ホームステイ受入(平成6年度以降) 区民の有志による団体訪問(平成10、11年度) 展示会、写真展の相互開催 ド区内の街路に「東京通り」「荒川通り」と命名(平成12年) 南千住東口広場を「ドナウ広場」、道路を「ドナウ通り」と命名、彫刻「ドナウの調べ」設置、ド区代表団を迎え除幕式(平成14年) ド区東京通り沿いにモザイク壁画「荒川区と友達」設置 東京荒川ライオンズクラブとウィーンドナウライオンズクラブが提携の共同宣言(平成14年) ウィーン大学語学研修生を受入(平成17年) 	友好都市提携 共同宣言(平成8年)
アメリカ、オレゴン州コーバリス市 面積：35km ² 人口：5万人	<ul style="list-style-type: none"> 平成4年、5年に両区市で絵画展を開催したことを契機に交流が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒等絵画展の開催(平成4年～平成7年) 両区・市長による相互訪問(平成4年～6年) 職員をコーバリス市に4か月派遣(平成6年) オレゴン州立大学の学生を研修生として受入(平成9～14年、16年) 	

海外都市間交流の現状②

都市名	交流の契機	主な交流事業	提携の内容
韓国、濟州市 面積：255.5km ² 人口：30万人	<ul style="list-style-type: none"> 濟州島出身者が区内に多く在住する歴史的経緯を踏まえ、平成16年10月、区民及び区議会議員有志が訪問したことを契機に交流が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 17年6月、区職員が濟州市を公式訪問し、写真展への協力を要請 17年9月の濟州市昇格50周年式典に副議長、区職員が出席し、市長及び市議会議長に祝意を表す。 17年12月には区長が、18年1月には市長が相互に相手都市を訪問 18年2月、友好交流記念写真展を開催 18年2月、友好都市協定締結 	18年2月の区議会本会議で濟州市及び中山区との友好都市関係の提携議案が全会一致で可決
中国、大連市中山区 面積：43.85km ² 人口：38万人	<ul style="list-style-type: none"> 荒川区長が経済産業副大臣時代に大連市の産業、経済面で尽力があったことを縁に、平成17年4月、中山区長が荒川区を訪問されたことを契機に交流が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 17年7月、区長、議長が中山区を訪問し、中山区長、同幹部、中山区人民大会主任等と会談、経済技術開発区や高等教育機関等を視察 17年10月、東京商工会議所荒川支部支部が大連産業視察会を実施 18年1月、副議長、区幹部職員が中山区を訪問し、今後の連携について協議 18年3月、友好都市協定締結 	

出典：荒川区区民生活部文化交流推進課資料